

問1 おしべの先についている粉のことを何といいますか。

問2 おしべとめしべが1つの花の中にある特<sup>とくちよう</sup>徴をもつ植物はどれですか。

問3 スギやマツ、トウモロコシなどの花で、花粉が風で運ばれやすいよう軽くなっている特<sup>とくちよう</sup>徴を持つ花を何と呼びますか。

問4 柱頭の表面には、花粉をしっかりと受け止めるためにどのような特<sup>とくちよう</sup>徴がありますか。

問5 受粉とは、どこにある何が、どこにつくことですか。

問6 めしべのもとの方のふくらんでいる部分は、成長すると何になりますか。

問7 日光が直接当たるところで顕<sup>けん</sup>微<sup>び</sup>鏡<sup>きよう</sup>を使ってはいけけないのは、どのような危<sup>きけん</sup>険があるからですか。

問8 めしべのもとの部分には、どのような特<sup>とくちよう</sup>徴がありますか。

問9 めしべの先の手ざわりがべとべとしているのは、どのようなことに役立ちますか。

問10 プレパ<sup>けん</sup>ラ<sup>び</sup>ト<sup>きよう</sup>を作<sup>て</sup>って顕<sup>けん</sup>微<sup>び</sup>鏡<sup>きよう</sup>で観<sup>くわん</sup>察<sup>さつ</sup>するとき、プレパ<sup>けん</sup>ラ<sup>び</sup>ト<sup>きよう</sup>は顕<sup>けん</sup>微<sup>び</sup>鏡<sup>きよう</sup>のどの部分に置<sup>い</sup>てクリッ<sup>と</sup>プでとめ<sup>め</sup>ますか。

問11 アブラ<sup>とく</sup>ナの花のつくりには、どのような特<sup>とくちよう</sup>徴がありますか。

問12 花の咲<sup>さ</sup>く植物<sup>ぶつ</sup>が、種<sup>たね</sup>子<sup>こ</sup>から芽<sup>こぼ</sup>が出て育<sup>そだ</sup>ち、花<sup>はな</sup>が咲<sup>さ</sup>いて受<sup>う</sup>粉<sup>こな</sup>し、実<sup>み</sup>の中に新<sup>あたら</sup>しい種<sup>たね</sup>子<sup>こ</sup>がで<sup>で</sup>けるとい<sup>い</sup>う一<sup>いっ</sup>連<sup>れん</sup>の過<sup>か</sup>程<sup>てい</sup>をくり返<sup>かえ</sup>すことを何とい<sup>い</sup>ますか。

問13 ヘチ<sup>ま</sup>マやカボ<sup>ちや</sup>チャ、コス<sup>もす</sup>スなどのように、こ<sup>ん</sup>虫<sup>ちゅう</sup>に花<sup>はな</sup>粉<sup>こな</sup>を運<sup>は</sup>んでもら<sup>う</sup>特<sup>とくちよう</sup>徴<sup>てい</sup>をもつ花<sup>はな</sup>を何と呼<sup>よ</sup>びますか。

問14 おし<sup>べ</sup>の先<sup>さき</sup>にあり、花<sup>はな</sup>粉<sup>こな</sup>が<sup>つ</sup>く<sup>ら</sup>れ<sup>る</sup>部<sup>ぶ</sup>分<sup>ぶん</sup>の<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>は<sup>な</sup>ん<sup>と</sup>ですか。

問15 ヘチ<sup>ま</sup>の花<sup>はな</sup>の<sup>う</sup>ち、めし<sup>べ</sup>べ<sup>が</sup>あ<sup>る</sup>の<sup>は</sup>ど<sup>の</sup>花<sup>はな</sup>で<sup>す</sup>か。

問16 めし<sup>べ</sup>と<sup>お</sup>し<sup>べ</sup>べ<sup>が</sup>別<sup>べつ</sup>々<sup>べつ</sup>の花<sup>はな</sup>に<sup>あ</sup>り、1<sup>つ</sup>の<sup>か</sup>ぶ<sup>に</sup>2<sup>しゆ</sup>種<sup>しゆ</sup>類<sup>るい</sup>の花<sup>はな</sup>が<sup>さ</sup>く<sup>植</sup>物<sup>ぶつ</sup>の<sup>こ</sup>とを<sup>な</sup>ん<sup>と</sup>呼<sup>よ</sup>び<sup>ま</sup>すか。

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 花粉	おしべの先についている粉のことを花粉といいます。
問2	答え アブラナの花	アブラナの花は、おしべとめしべが1つの花の中にある植物です。
問3	答え 風に花粉が運ばれる花	スギやマツ、トウモロコシなどは、風力を借りて花粉を運ぶ「風に花粉が運ばれる花」です。
問4	答え 表面がべたべたしている。	柱頭の表面はべたべたしており、運ばれてきた花粉がつきやすくなっています。
問5	答え おしべの先にある花粉が、めしべの先につくこと	受粉は、おしべの先にある花粉が、めしべの先につくことをいいます。
問6	答え 実	めばなのもとの方のふくらんでいる部分は、やがて実になります。
問7	答え 目を痛めてしまう危険	日光が直接当たるところで顕微鏡 <small>けんびきょう</small> を使うと、強い光が目に入り、目を痛めてしまう危険 <small>きけん</small> があります。
問8	答え ふくらんでいて、のちに実になる。	めしべのもととはふくらんだ形をしており、花がさいたあとに成長して実になります。
問9	答え 花粉をくっつきやすくすること	めしべの先がべとべとしており、花粉をしっかりとつきやすくするためです。
問10	答え ステージ	プレパラートは、顕微鏡 <small>けんびきょう</small> のステージの上に置いてクリップで固定して観察します。
問11	答え おしべとめしべが1つの花の中にある。	アブラナの花は、1つの花の中におしべとめしべの両方があると特徴 <small>とくちょう</small> を持っています。
問12	答え 植物の生命のつながり	花の咲く植物は、発芽、成長、開花、受粉、そして実と種子ができるという過程をくり返すことで、生命を次の世代へとつないでいきます。
問13	答え 虫に花粉が運ばれる花	ヘチマやカボチャ、コスモスなどは、昆虫に花粉を運んでもらう「虫に花粉が運ばれる花」の仲間です。
問14	答え やく	おしべの先にある、花粉がつくられる部分を「やく」といいます。
問15	答え めばな	ヘチマの花には2種類あり、めしべがあるのは「めばな」です。もう一方の「おばな」にはおしべがあります。
問16	答え めばなとおばながある植物	めしべとおしべが別々の花 <small>べつべつ</small> にあり、1つのかぶにめばなとおばなの2種類の花がさく植物のことです。

問1 花が咲いたあとに受粉が行われなかった場合、めしべのものはどうなりますか。

問2 顕微鏡を使うとき、目を痛めてしまう危険があるため、使ってはいけないのはどのような場所ですか。

問3 めしべとおしべが別々の花にあり、1つのかぶに2種類の花がさく植物のことを何と呼びますか。

問4 花のつくりのうち、おしべだけがある花のことを何とよびますか。

問5 種子は、めしべのものとふくらんだ部分が育って何になるときに、その中にできるものですか。

問6 次の植物の命となる種子は、植物の体のどこに含まれていますか。

問7 花が咲いたあとに、めしべのものがふくらんで実ができるために、必ず行われなければならないことは何ですか。

問8 顕微鏡で、接眼レンズの数字と対物レンズの数字をかけ合わせたもののことを何といいますか。

問9 ヘチマやカボチャ、コスモスなどのように、こん虫に花粉を運んでもらう特徴をもつ花を何と呼びますか。

問10 花粉がつきやすくなるように、手ざわりがべとべとしている、花のつくりはどこですか。

問11 ヘチマなどの植物で、めばなにはどのような特徴がありますか。

問12 花粉がミツバチなどの虫によって運ばれる植物はどれですか。

問13 めしべの先に花粉がついたあと、めしべとその中身は、やがてそれぞれ何になりますか。

問14 おしべの先にある花粉の入ったふくろから花粉が出てくるとき、そのふくろはどのようなになりますか。

問15 動物がおこなう「受精」は、植物のどのような働きと同じように、生命を受けついでいくためのものですか。

問16 プレパラートを作って顕微鏡で観察するとき、プレパラートは顕微鏡のどの部分に置いてクリップでとめますか。

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	<b>答え</b> 実ができない。	受粉が行われないと、めしべのもとがふくらんで実になることはありません。実ができるためには受粉が必要です。
問2	<b>答え</b> 日光が直接当たる場所	日光が直接当たるところで顕微鏡 <small>けんびきょう</small> を使うと、強い光が目に入って目を痛めてしまう危険があるため、使ってはいけません。
問3	<b>答え</b> めばなとおばながある植物	めしべとおしべが別々 <small>べつべつ</small> の花にあり、1つのかぶにめばなとおばなの2種類の花がさく植物のことです。
問4	<b>答え</b> おばな	おしべだけがある花のことを「おばな」とよびます。
問5	<b>答え</b> 実	めしべのもとのおふくらんだ部分は、受粉したあとに育って実になり、その実の中に種子ができます。
問6	<b>答え</b> 花が咲いたあとにできる実の中	種子は、花が咲いたあとにできる実の中に含まれています。
問7	<b>答え</b> 受粉	花が咲いたあとに受粉が行われることで、めしべのもとがふくらんで実になります。受粉が行われないと、実はできません。
問8	<b>答え</b> 顕微鏡 <small>けんびきょう</small> の倍率	顕微鏡 <small>けんびきょう</small> の倍率は、接眼レンズの数字と対物レンズの数字をかけ合わせることで決まります。
問9	<b>答え</b> 虫に花粉が運ばれる花	ヘチマやカボチャ、コスモスなどは、こん虫に花粉を運んでもらう「虫に花粉が運ばれる花」の仲間です。
問10	<b>答え</b> めしべの先	めしべの先は、手ざわりがべとべとしていて、花粉がつきやすくなっています。
問11	<b>答え</b> めしべがある。	めばなは、ヘチマなどの植物でめしべがある花のことです。
問12	<b>答え</b> ヘチマ	ヘチマやカボチャは、ミツバチなどの虫に花粉を運んでもらう代表的な植物です。
問13	<b>答え</b> 実と種子	めしべの先に花粉がつくと、めしべの部分はやがて実になり、その中に種子がつくられます。
問14	<b>答え</b> ふくろがわれる。	おしべの先にある花粉の入ったふくろは、われることでたくさんの花粉を外に出します。
問15	<b>答え</b> 受粉	動物の受精は、植物の花粉がめしべにつく「受粉」と同じように、次の世代へと生命を受けついでいくための大切な働きです。
問16	<b>答え</b> ステージ	プレパラートは、顕微鏡 <small>けんびきょう</small> のステージの上に置いてクリップで固定して観察します。

問1 顕微鏡で観察するとき、観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたもののことを何といいますか。

問2 1つの花にめしべとおしべが両方そろっている植物には、アサガオのほかにもどのような植物がありますか。

問3 ヘチマやカボチャ、コスモスなどのように、こん虫に花粉を運んでもらう特徴をもつ花を何と呼びますか。

問4 アサガオの花には、1本のめしべのまわりにおしべが何本ありますか。

問5 顕微鏡で低い倍率から高い倍率に対物レンズを切り替えるとき、回す部品の名前は何かですか。

問6 花粉がつきやすくなるように、手ざわりがべとべととしている、花のつくりはどこですか。

問7 花の咲く植物が、種子から芽が出て育ち、花が咲いて受粉し、実の中に新しい種子ができるという一連の過程をくり返すことを何といいますか。

問8 おばなという花には、どのような特徴がありますか。

問9 動物がおこなう「受精」は、植物のどのような働きと同じように、生命を受けついでいくためのものですか。

問10 おしべの先にあり、花粉がつくられる部分の名前は何かですか。

問11 接眼レンズの倍率が10倍で、対物レンズの倍率が40倍のとき、顕微鏡の全体の倍率は何倍になりますか。

問12 おしべの先にある「やく」という部分では、何がつくられますか。

問13 花が咲いたあとに、実ができるために必要なことは何かですか。

問14 顕微鏡でピントを合わせるとき、接眼レンズをのぞきながら対物レンズと観察するものを近づけてはいけないのはなぜですか。

問15 花のつくりの中で、黄色い花粉がたくさんついていて、手でさわるとさらさらしている部分はどこですか。

問16 花粉がおもに風によって運ばれる植物の組み合わせは何ですか。

## 答え合わせ・解説 No.3

問1	答え プレパラート	観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたものをプレパラートといいます。
問2	答え アブラナやユリ	1つの花にめしべとおしべが両方そろっている植物には、アサガオのほかにアブラナやユリなどがあります。
問3	答え 虫に花粉が運ばれる花	ヘチマやカボチャ、コスモスなどは、こん虫に花粉を運んでもらう「虫に花粉が運ばれる花」の仲間です。
問4	答え 5本	アサガオの花には、1本のめしべのまわりに5本のおしべがあります。
問5	答え レボルバー	対物レンズを切り替えるときは、レンズを直接触るのではなく、レボルバーという部品を回して倍率を変えます。
問6	答え めしべの先	めしべの先は、手ざわりがべとべとしていて、花粉がつきやすくなっています。
問7	答え 植物の生命のつながり	花の咲く植物は、発芽、成長、開花、受粉、そして実と種子ができるという過程をくり返すことで、生命を次の世代へとつないでいきます。
問8	答え おしべだけがあって、めしべがない。	おぼなは、おしべだけがある花のことなので、めしべはありません。
問9	答え 受粉	動物の受精は、植物の花粉がめしべにつく「受粉」と同じように、次の世代へと生命を受けついでいくための大切な働きです。
問10	答え やく	おしべの先にある、花粉がつくられる部分を「やく」といいます。
問11	答え 400倍	全体の倍率は「接眼レンズの倍率（10倍）」に「対物レンズの倍率（40倍）」をかけ算するため、 $10 \times 40$ で400倍になります。
問12	答え 花粉	やくは、おしべの先にあって花粉をつくる大切な部分です。
問13	答え めしべの先に花粉がつくこと	花が咲いたあとに実ができるためには、めしべの先に花粉がつくこと（受粉）が必要です。
問14	答え 対物レンズと観察するものがぶつかるのを防ぐため	のぞきながら近づけると、対物レンズと観察するものがぶつかってレンズやプレパラートが壊れてしまうのを防ぐためです。
問15	答え おしべの先	おしべの先には、黄色い花粉がたくさんついていて、手ざわりはさらさらしています。
問16	答え トウモロコシやマツ	トウモロコシやマツは、虫などに頼らず、おもに風（たよら）の力で花粉を運ぶ植物です。

問1 顕微鏡で、接眼レンズの数字と対物レンズの数字をかけ合わせたもののことを何といいますか。

問2 花が咲いたあとに、めしべのもとがふくらんで実ができるために、必ず行われなければならないことは何ですか。

問3 ヘチマと同じように、めばなとおばなの2種類の花が咲く植物はどれですか。

問4 おしべとめしべが1つの花の中にある特徴をもつ植物はどれですか。

問5 めしべの先がねばねばしているのは、どのような理由からですか。

問6 顕微鏡で観察するときに、観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたもののことを何といいますか。

問7 花粉がおもに風によって運ばれる植物の組み合わせは何ですか。

問8 メダカやヒトなどの動物で、めすのたまごにおすの精子が結びつくことを何といいますか。

問9 ヘチマの花のうち、めしべがあるのはどの花ですか。

問10 スギやマツ、トウモロコシなどの花で、花粉が風で運ばれやすいよう軽くなっている特徴を持つ花を何と呼びますか。

問11 接眼レンズの数字が10で、対物レンズの数字が40のとき、顕微鏡の倍率は何倍になりますか。

問12 おしべの先にある「やく」という部分では、何がつくられますか。

問13 めしべのもと部分には、どのような特徴がありますか。

問14 花がさいたあと、成長して実になる、ふくらんでいる部分はどこですか。

問15 おしべの先にある花粉の入ったふくろから花粉が出てくるとき、そのふくろはどのようなになりますか。

問16 ヘチマなどの植物で、めばなにはどのような特徴がありますか。

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	<b>答え</b> 顕微鏡の倍率	顕微鏡の倍率は、接眼レンズの数字と対物レンズの数字をかけ合わせることで決まります。
問2	<b>答え</b> 受粉	花が咲いたあとに受粉が行われることで、めしべのもとがふくらんで実になります。受粉が行われないと、実はできません。
問3	<b>答え</b> オモチャカボチャの花	オモチャカボチャは、ヘチマと同じように、めしべだけがある「めばな」とおしべだけがある「おばな」の2種類の花を咲かせます。
問4	<b>答え</b> アブラナの花	アブラナの花は、おしべとめしべが1つの花の中にある植物です。
問5	<b>答え</b> 花粉がよくくっつくようにするため	めしべの先はねばねばしており、運ばれてきた花粉がよくくっつくようになっています。
問6	<b>答え</b> プレパラート	観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたものをプレパラートといいます。
問7	<b>答え</b> トウモロコシやマツ	トウモロコシやマツは、虫などに頼らず、おもに風力で花粉を運ぶ植物です。
問8	<b>答え</b> 受精	動物のめすのたまごにおすの精子が結びつくことを受精といい、これによって新しい生命が誕生します。
問9	<b>答え</b> めばな	ヘチマの花には2種類あり、めしべがあるのは「めばな」です。もう一方の「おばな」にはおしべがあります。
問10	<b>答え</b> 風に花粉が運ばれる花	スギやマツ、トウモロコシなどは、風力を借りて花粉を運ぶ「風に花粉が運ばれる花」です。
問11	<b>答え</b> 400倍	顕微鏡の倍率は接眼レンズの数字と対物レンズの数字をかけたものなので、10かける40で400倍になります。
問12	<b>答え</b> 花粉	やくは、おしべの先にあって花粉をつくる大切な部分です。
問13	<b>答え</b> ふくらんでいて、のちに実になる。	めしべのもととはふくらんだ形をしており、花がさいたあとに成長して実になります。
問14	<b>答え</b> めしべのもと	めしべのもとの方はふくらんでおり、この部分が成長して実になります。
問15	<b>答え</b> ふくろがわれる。	おしべの先にある花粉の入ったふくろは、われることでたくさんの花粉を外に出します。
問16	<b>答え</b> めしべがある。	めばなは、ヘチマなどの植物でめしべがある花のことです。

問1 おしべの先にある「やく」という部分では、何がつくられますか。

問2 顕微鏡<sup>けんびきょう</sup>で低い倍率から高い倍率に対物レンズ<sup>か</sup>を切り替えるとき、回す部品の名前は何ですか。

問3 アブラナの花のつくりには、どのような特徴<sup>とくちょう</sup>がありますか。

問4 顕微鏡<sup>けんびきょう</sup>の全体の倍率を求めるとき、接眼レンズの倍率と対物レンズの倍率をどのように計算しますか。

問5 めばなのもとの方のふくらんでいる部分は、成長すると何になりますか。

問6 めしべの先に花粉がついたあと、めしべとその中身は、やがてそれぞれ何になりますか。

問7 おしべの先についている粉のことを何といいますか。

問8 種子は、めしべのもとのふくらんだ部分が育って何になるときに、その中にできるものですか。

問9 おしべとめしべが1つの花の中にある植物はどれですか。

問10 花が咲いた<sup>さ</sup>あとに受粉しなかった場合、その花はどうなりますか。

問11 花のつくりの中で、黄色い花粉がたくさんついていて、手でさわるとさらさらしている部分はどこですか。

問12 花が咲いた<sup>さ</sup>あとに、めしべのもとがふくらんで実ができるために、必ず行われなければならないことは何ですか。

問13 おばなという花には、どのような特徴<sup>とくちょう</sup>がありますか。

問14 めばなとおばなという2種類の花が咲き、めばなにはめしべ、おばなにはおしべがある植物はどれですか。

問15 おしべの先についている、粉のようなものは何ですか。

問16 受粉とは、花粉が花のどの部分につくことですか。

## 答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 花粉	やくは、おしべの先にあつて花粉をつくる大切な部分です。
問2	答え レボルバー	対物レンズを切り替 <sup>か</sup> えるときは、レンズを直接 <sup>さ</sup> 触るのではなく、レボルバーという部品を回して倍率を変えます。
問3	答え おしべとめしべが1つの花の中にある。	アブラナの花は、1つの花の中におしべとめしべの両方があるという特 <sup>とく</sup> 徴 <sup>ちゆう</sup> を持っています。
問4	答え かけ算する	顕 <sup>けん</sup> 微 <sup>び</sup> 鏡 <sup>きやう</sup> の全体の倍率は、接眼レンズの倍率に対物レンズの倍率をかけ算して求めます。
問5	答え 実	めばなのもとの方のふくらんでいる部分は、やがて実になります。
問6	答え 実と種子	めしべの先に花粉がつくと、めしべの部分はやがて実になり、その中に種子がつくれます。
問7	答え 花粉	おしべの先についている粉のことを花粉といいます。
問8	答え 実	めしべのもとの方のふくらんだ部分は、受粉したあとに育つて実になり、その実の中に種子ができます。
問9	答え アサガオの花	アサガオの花は、おしべとめしべが1つの花の中にある植物です。
問10	答え 実も種子もできない。	受粉しないと、実はず、種子もできません。実や種子ができるためには受粉が必要です。
問11	答え おしべの先	おしべの先には、黄色い花粉がたくさんついていて、手ざわりはさらさらしています。
問12	答え 受粉	花が咲 <sup>さ</sup> いたあとに受粉が行われることで、めしべのもとがふくらんで実になります。受粉が行われないと、実はずできません。
問13	答え おしべだけがあつて、めしべがない。	おぼなは、おしべだけがある花のことなので、めしべはありません。
問14	答え ヘチマの花	ヘチマの花には、めばなとおぼなの2種類があります。めばなにはめしべがあり、おぼなにはおしべがあります。
問15	答え 花粉	おしべの先には、花粉という粉のようなものがついています。
問16	答え めしべの先	受粉は、おしべから出た花粉が「めしべの先」につくことをいいます。